

本日、堺市竹山市長様、阪堺電気軌道外濱社長ご臨席の下、利用者、行政関係者、事業者が集い「第2回 都市交通フォーラム@関西」を開催いたしました。

このフォーラムでは和歌山電鉄代表取締役専務磯野省吾様から廃止が危惧された和歌山電鉄の再生への取り組みと今後の課題をご講演いただき、さらにシンポジウムでは阪堺線再生の取り組みと諸課題について関係者で論議いたしました。

先日、JR北海道が1200kmの路線の維持が困難と公式表明したように全国の地域公共交通は極めて厳しい経営下にあります。高齡社会の到来により公共交通の重要性は増大するばかりです。

このようななか、私たちは、本日のフォーラムを通じて、これからも事業者、行政、利用者が三位一体となって、交通ネットワークを守っていく必要性を再確認いたしました。

この三者が文字通り協働し、大阪と堺を結ぶ阪堺線が次世代に引き継げる社会資本となるよう奮闘し、この活動が全国の範となるよう努めていくことを宣言いたします。

第2回都市交通フォーラム 実行委員会

NPO法人 KOALA

NPO法人 RACDA大阪・堺